

〔国際会議開催〕

申請者	電気通信大学 教授 柳井 啓司	2245008
国際会議名	International Conference on Multimedia Modeling	
会議ホームページ URL	https://mmm2025.net/	
開催期間	2025 年 1 月 8 日～2025 年 1 月 10 日（3 日間）	
会場名称	奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～	
会場住所	奈良県奈良市	
開催形式	対面開催	
申請者の役割	実行責任者	

【国際会議の概要】

第 31 回マルチメディアのモデリングに関する国際会議（MMM2025）は、2025 年 1 月 8 日から 10 日まで奈良春日野国際フォーラムで盛大に開催された。本会議には当初の予想を大きく上回る 180 件近い発表と 262 名（国内 61 名、海外 201 名）の参加登録があり、国内外から多数の研究者が集まり、活発かつ深い議論が交わされた。海外研究者による発表割合は全体の 84% と非常に高く、国際的な関心の高さをうかがわせた。また、論文採択率はイベントを含めて 51% であり、一般講演に限定すると 45% であった。

基調講演には多様性（ダイバーシティ）を考慮し、日本を代表するマルチメディア分野の重鎮研究者 1 名に加え、アジアおよびヨーロッパから注目を集める新進気鋭の若手研究者 2 名を招いた。これらの研究者のうち 1 名は女性研究者であり、もう 1 名は産業界からの招待講演者という構成をとることで、学術界に限らず産業界の最新動向についても広く共有された。

【開催の目的・意義と得られた成果・効果】

本国際会議は、マルチメディア分野における最新の研究成果や技術革新を世界規模で共有し、国際的な学術交流および共同研究の推進を目的として開催された。特に今回の会議では、技術コンペティション「Video Browsing Showdown」とデモ展示が注目され、各国から 20 件前後のチームが参加し、予想を大きく超える参加者が訪れるなど非常に活況を呈した。これらのイベントは、参加者同士の実践的な交流を促進し、今後の研究開発における新たな着想や共同研究の芽を生み出すきっかけとなった。

また、特別セッション「Multimodal Large Language Models and Applications」では、著名研究者がパネリストとして登壇し、公開討論を行った。このセッションでは最新の研究動向だけでなく、実用化に向けた課題や展望についても深く掘り下げた議論が行われ、多くの参加者がその議論に強い関心を示した。

一般発表セッションでは、口頭発表とポスターセッションを明確に分け、口頭発表には現地参加可能かつ査読で特に高い評価を得た発表を選び、現地での議論を活発化させた。一方、現地参加できなかった発表については、ポスターセッションにおいてデジタルポスター形式（短編ビデオ上映）を採用

することで、多様な参加形態を提供し、参加者からも非常に高い評価を得た。

本国際会議の開催を通じて、日本国内の若手研究者が国際会議運営に直接関与する貴重な経験を積むことができた。これにより、コロナ禍により途絶えがちであった研究運営の知識やノウハウを次世代へ継承するとともに、国際的な人的ネットワークを拡大することにも成功した。今後さらに規模の大きな国際会議を日本国内で開催する機会に恵まれた際には、本会議で得られた運営経験や人脈を活かし、より一層質の高い国際会議運営を目指していく計画である。

参加者数：262 人（国内 61 人、海外 201 人）
（内訳、有料 257・無料 5、招待者数 5、学生等 57）
発表件数：176 件（国内 28 件、海外 148 件）
海外研究者による発表件数の割合 84%
論文採択率 51%（イベントを含む）
（一般講演のみ：45%）



オープニングセレモニー時の会場風景



会議終了後に撮影した運営関係者集合写真